

農産物の温室効果ガス簡易算定シート
操作マニュアル
【Ver.1.1】

令和6年4月

農林水産省みどりの食料システム戦略グループ

地球環境対策室

本書は、農産物に由来する温室効果ガスの排出量を簡易に算出するため、農産物の温室効果ガス簡易算定シート（以下、簡易算定シートと呼びます）をどのように利用するかを簡易に説明したものです。環境負荷低減の見える化に関する全般的な情報を知りたい場合には、「農産物の環境負荷低減に関する評価・表示ガイドライン」をご参照ください。

<目次>

1. 利用に必要な準備
2. 生産者情報の入力
3. 簡易算定シートへのデータ入力
4. 簡易算定シートの算定結果の見方

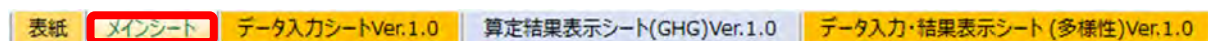
1. 利用に必要な準備

簡易算定シートは、マイクロソフト社の表計算ソフトであるエクセルにより温室効果ガス排出量を算定します。表計算ソフトが利用できるパソコンでご利用ください¹。動作は、Microsoft® Excel® for Microsoft 365 MSO で確認しています。ファイルを開いた際に、保護ビューのままにしておくよう警告が出た場合には、「編集を有効にする」をクリックし、データが入力できるようにしてください。



2. 生産者情報の入力

本簡易算定シートを使用し、等級ラベルを使用する際には、農林水産省に対して算定結果の報告をお願いしています。算定結果の報告の際には、メインシートの黄色のセルについて必要な情報を記入してください。



¹ スマートフォンやタブレット上での動作確認はしていません。

① 農業者/団体情報入力	
簡易算定シート利用時にはこちらの記入をお願いいたします。	
農業者/団体情報入力	
氏名または団体の名称 (必須)	株式会社〇〇〇
住所または所在地 (必須)	東京都千代田区〇〇〇
代表者名 (団体の場合のみ、必須)	算定太郎
担当部署名 (団体の場合のみ、必須)	なし
電話番号 (必須)	03-****-****
メールアドレス (必須)	*****@*****
算定結果の取扱い	
登録番号と当該品目名は農林水産省のHPで公表します。(必須)	了承済み
生産地(都道府県)及び農業者/団体の名称は、農林水産省のHPにて公表を希望されますか。(任意)	希望しない
使用許諾及び免責事項 使用許諾及び免責事項	
使用許諾及び免責事項 (必須)	私は使用許諾及び免責事項を読んでその内容と条件を完全に理解し、同意します。
IDEAのライセンス規約への同意 IDEAエンドユーザーライセンス規約	
IDEAエンドユーザーライセンス規約 (必須)	私はIDEAエンドユーザーライセンス規約を読んでその内容と条件を完全に理解し、同意します。

データ入力後、②栽培データ入力をご確認ください。必須項目を全て入力することで、データ入力シートへ栽培情報が入力できるようになります。

- ・ 必要事項が全て入力されている場合
メインシートの②に「データ入力シートへ進んでください。」と出力されます。

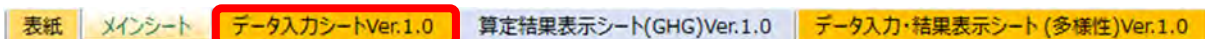
② 栽培データ入力
データ入力シートへ進んでください。

- ・ 必要事項に不備がある場合
「入力不備ございます。再度、①取組者情報入力をご確認ください。」と出力されます。入力漏れ等がないか等ご確認ください。

② 栽培データ入力
入力不備ございます。再度、①取組者情報入力をご確認ください。

3. 簡易算定シートへのデータ入力

「データ入力シートへ進んでください。」と出力されたら、データ入力シートで栽培情報の入力へ進んでください。



(1) 基本情報等の入力

基本情報、作物残さの取扱い（米、野菜）、水田の湛水方式（米のみ）、土壌への炭素貯留の取り組み（バイオ炭）、緑肥の使用（米、野菜）、果樹園の草生栽培の有無（果樹のみ）、水田の秋耕の取組（米のみ）、の入力は必須です。以下の黄色のセルについて、選択項目の場合は選択肢から選択し、数値入力項目の場合は数値を直接入力します。（以下は米のシートですが、基本操作は同じです。）

基本情報	
品目	米
生産地（都道府県）	新潟県
栽培延べ面積	10.0 a
収穫量（年間）	600 kg
作物残さの取扱い	
作物残さの取扱い方法	すき込み
水田の湛水方式（品目が米の場合のみの選択項目です）	
湛水方式	間断灌漑
中干し延長	中干し延長なし（通常）
土壌への炭素貯留の取り組み	
バイオ炭の施用	あり
バイオ炭の種類	黒炭
バイオ炭施用量（年間）	500.0 kg/10a
緑肥の使用	
緑肥の種類	投入なし
水田の秋耕の取組	
秋耕の取組	なし

選択項目を入力する場合には、該当のセルを選択するとセルの右側にドロップダウンのボタンが現れます。

これをクリックしてドロップダウンリストを表示し、適切な内容を選択してください。

作物残さの取扱い	
作物残さの取扱い方法	すき込み
水田の湛水方式（品目が米の場合のみの選択項目です）	
湛水方式	間断灌漑
中干し延長	中干し延長なし（通常）

ドロップダウンリストのボタン

作物残さの取扱い

作物残さの取扱い方法	すき込み
水田の湛水方式（品名が米の場合のみ）	すき込み 焼却 残さ持ち出し（圃場外での利活用等（ただし焼却は除く））
湛水方式	（項目は非表示）
中干し延長	中干し延長なし（通常）
土壌への炭素貯留の取り組み	
バイオ炭の施用	あり
バイオ炭の種類	黒炭

ドロップダウンリストが現れます。目的の内容を選択します。

数値を入力する項目（栽培延べ面積、収穫量等）はセルに数値を直接入力してください。

各データの説明は以下をご覧ください。

基本情報

品目	対象農産物を米／きゅうり（露地又は施設）／トマト（露地又は施設）／なす（露地又は施設）／ほうれんそう／白ねぎ／たまねぎ／はくさい／ばれいしょ／かんしょ／キャベツ／レタス／だいこん／にんじん／茶／もも／りんご／みかん（露地又は施設）／ぶどう（露地又は施設）／日本なし／アスパラガス／ミニトマト（施設）／いちご（施設）から選択します。
栽培都道府県	栽培した都道府県を選択します。
栽培延べ面積（年間）	対象農産物の1年間の作付延べ面積を入力します。複数回作付した場合は延べ面積を反映してください。（単位：アール(a)）
収穫量（年間）	対象農産物の1年間の総収穫量を入力します（単位：kg）。
収穫量の形態（茶のみ）	荒茶／生茶から選択します。

作物残さの取扱い（米、野菜）

作物残さの取扱い方法	作物残さの取扱いについて、すき込み／焼却／残さ持ち出し（圃場外での利活用等（ただし焼却は除く））から選択します。
------------	--

水田の湛水方式（米）

湛水方式	間断灌漑／常時湛水から選択します。栽培期間中に中干しした場合は間断灌漑、中干ししなかった場合は常時湛水を選択してください。
中干し延長	間断灌漑の場合、中干し期間の延長の有無（あり／なし）を選択します。 ※慣行の日数に対し7日間以上延長した場合に「中干し延長」とみなします。

土壌への炭素貯留の取組

バイオ炭の施用	土壌へのバイオ炭の施用の有無（あり／なし）を選択します。
バイオ炭の種類	白炭／黒炭／竹炭／粉炭／オガ炭／家畜糞尿由来（熱分解）／家畜糞尿由来（ガス化）／木材由来（熱分解）／木材由来（ガス化）／草本由来（熱分解）／草本由来（ガス化）／もみ殻・稲わら由来（熱分解）／もみ殻・稲わら由来（ガス化）／木の実由来（熱分解）／木の実由来（ガス化）／製紙汚泥・下水汚泥由来（熱分解）／製紙汚泥・下水汚泥由来（ガス化）から選択します。 ※選択項目にない種類のバイオ炭は現時点で対応していません。
バイオ炭施用量（1年間の合計）	農地土壌へのバイオ炭の1年間の施用量を入力します。（単位：kg/10a）

緑肥の施用（米、野菜）

緑肥の種類	投入なし／トウモロコシ／ソルゴー／エンバク／ライムギ／その他ムギ／シロカラシ／キカラシ／レンゲ／ダイズ／クローバ／ルーピン／その他から選択します。緑肥を使用した場合は使用した緑肥を選択（緑肥は圃場全体に作付けしている必要があります。また、作物体は全量すき込む必要があります。）、実施しなかった場合はなしを選択してください。選択項目にはない種類の緑肥を使用した場合は「その他」を選択してください。
-------	---

果樹園の草生栽培の有無（果樹のみ）

草生栽培の有無	あり／なしから選択します（果樹園の一部ではなく、全体が下草で覆われている必要があります）。
---------	---

秋耕（米）

秋耕の取組	あり／なしから選択します。秋耕を実施した場合はあり、実施しなかった場合はなしを選択してください。
-------	--

(2) 資材等の投入量の入力

農薬使用量、肥料使用量、プラスチック資材、燃料・電力使用量の入力項目に、データを入力します。データの入手が困難な入力項目については、「標準値を使う」を選択することで、栽培地域に応じた標準活動量を使用できます。

入力項目

農薬使用量	データ	標準活動量 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
殺虫剤	標準値を使う	0.89 kg/10a	金額 (円)	0.50 円/10a	14.84 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
殺菌剤	標準値を使う	0.46 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	6.55 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	標準値を使う	1.04 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	16.23 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
除草剤	標準値を使う	1.81 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	10.90 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
肥料使用量	データ	標準活動量 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
窒素肥料 (N成分量)	標準値を使う	10.00 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	54.61 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
リン肥料 (P ₂ O ₅ 成分量)	標準値を使う	10.00 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	28.85 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
カリ肥料 (K ₂ O成分量)	標準値を使う	10.00 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	6.24 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
堆肥	標準値を使う	12.80 kg/10a	重量 (kg)	2,000.00 kg/10a	0.90 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
プラスチック資材	データ	標準活動量 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
農業用塩化ビニルフィルム	標準値を使う	0.09 kg/10a	重量 (kg)	0.18 kg/10a	0.38 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
その他プラスチック類	標準値を使う	0.21 kg/10a	重量 (kg)	0.07 kg/10a	1.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
燃料・電力使用量	データ	標準活動量 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
ガソリン	標準値を使う	5.26 L/10a	体積 (L)	7.94 L/10a	14.97 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
軽油	標準値を使う	18.98 L/10a	体積 (L)	25.00 L/10a	56.81 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
灯油	標準値を使う	13.94 L/10a	体積 (L)	8.10 L/10a	39.48 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
A重油	標準値を使う	0.00 L/10a	体積 (L)	0.04 L/10a	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
LPG	標準値を使う	0.00 m ³ /10a	体積 (m ³)	0.00 m ³ /10a	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
都市ガス	標準値を使う	0.00 m ³ /10a	体積 (m ³)	0.00 m ³ /10a	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
系統電力	標準値を使う	39.16 kWh/10a	電力量 (kWh)	32.78 kWh/10a	23.25 kg-CO ₂ e/10a	0.0%

「データ」欄のセルをクリックすると、ドロップダウンリストから「標準値を使う」か「データを入力する」を選択することができます。

農薬使用量	データ	標準値 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
殺虫剤	標準値を使う	0.89 kg/10a	金額 (円)	0.50 円/10a	14.84 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
殺菌剤	標準値を使う	0.46 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	6.55 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	標準値を使う	1.04 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	16.23 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
除草剤	標準値を使う	1.81 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	10.90 kg-CO ₂ e/10a	0.0%

「データを入力する」を選択すると、「データ入力」欄が入力可能になります。データの単位に留意してご自分のデータを入力してください。

農薬使用量	データ	標準値 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
殺虫剤	データを入力する	0.89 kg/10a	重量 (kg)	0.50 kg/10a	14.84 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
殺菌剤	標準値を使う	0.46 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	6.55 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	標準値を使う	1.04 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	16.23 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
除草剤	標準値を使う	1.81 kg/10a	重量 (kg)	0.00 kg/10a	10.90 kg-CO ₂ e/10a	0.0%

このセルへデータ
入力が可能

データは、項目に応じた物量単位 (重量(kg)、体積(L, m³)、電力量(kWh)) で入力するのが原則ですが、購入金額しかわからない場合は、データ単位列を選択することで、ドロップダウンリストから金額単位 (円) も選択できます。

農薬使用量	データ	標準値 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
殺虫剤	データを入力する		重量 (kg)	0.50 kg/10a		
殺菌剤	標準値を使う	0.46 kg/10a	重量 (kg)			
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	標準値を使う	1.04 kg/10a	重量 (kg)			
除草剤	標準値を使う	1.81 kg/10a	重量 (kg)			

データ単位を「物量単位」と「金額」で選択可能

データ欄で「標準値を使う」を選択した場合、事前に簡易算定シートに保存されている標準値が自動的に入力されます。

農薬使用量	データ	標準値 (自動入力)	データ単位	データ入力	温室効果ガス排出量	標準値との差分
殺虫剤	データを入力する		重量 (kg)	0.50 kg/10a	8.34 kg-CO ₂ e/10a	-43.8%
殺菌剤	標準値を使う	0.46 kg/10a	重量 (kg)		6.55 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	標準値を使う	1.04 kg/10a	重量 (kg)			0.0%
除草剤	標準値を使う	1.81 kg/10a	重量 (kg)			0.0%

「標準値を使う」を選択すると標準値が自動入力される

ただし、資材等の投入量の各データの説明は以下をご覧ください。

農薬使用量

殺虫剤	1年間に対象農産物に使用した殺虫剤、殺菌剤、その他農薬(殺虫殺菌剤等)、除草剤について、10a当たりの使用量(kg)又は使用金額(円) ² を入力します。液体・固体・粉体などの性状の違いに依らず、10a当たりの使用量もしくは使用量に対応した購入金額を入力します。茶の場合のみ、1年間に使用した硝化抑制剤入り化学肥料の10a当たりの使用量(kg)又は使用金額(円) ² を入力できます。
殺菌剤	
その他農薬 (殺虫殺菌剤等)	
除草剤	
硝化抑制剤入り化学肥料(N成分量) (茶のみ)	

肥料使用量

窒素肥料 (N成分量)	化学肥料については、1年間に対象農産物に使用した窒素(N成分量)、リン(P ₂ O ₅ 成分量)、カリ(K ₂ O成分量)の10a当たりの使用量(kg)を入力します。堆肥(その他有機質肥料含む)については、10a当たりの使用量(kg)を入力します。(堆肥は、毎年連用していることを想定しています)。
リン肥料 (P ₂ O ₅ 成分量)	
カリ肥料 (K ₂ O成分量)	
堆肥 (その他有機質肥料含む)	

プラスチック資材

農業用塩化ビニルフィルム	1年間に対象農産物に使用した「農業用塩化ビニルフィルム」、「その他プラスチック類」について、10a当たりの使用量(kg)
その他プラスチック類	

	<p>又は使用金額(円)²を入力します。</p> <p>プラスチック資材が数年にわたって使用される場合、耐用年数を考慮して、1年当たりの使用量 (=廃棄量) を推計する必要があります。</p>
--	---

化石燃料・電力使用量

ガソリン	<p>1年間に対象農産物に使用したガソリン、軽油、灯油、A重油、LPG、都市ガス、系統電力について、10a当たりの使用量(L, m³, kWh)又は使用金額(円)²を入力します。</p>
軽油	
灯油	
A重油	
LPG (液化石油ガス)	
都市ガス	
系統電力	

データ入力推奨項目

GHG 排出量の寄与が大きく、かつ、生産者自身のデータの输入が困難でないと判断される以下の項目については、標準値を使わず、極力、自らのデータを输入することが望まれます。

ア 品目共通

- ・農薬使用量 (殺虫剤、殺菌剤、除草剤、その他農薬)
- ・肥料使用量 (窒素肥料 (N 成分量)、リン肥料 (P₂O₅ 成分量)、カリ肥料 (K₂O 成分量))

イ 施設栽培野菜・果樹

アに加えて、以下の項目へのデータ输入を推奨。

- ・燃料・電力使用量 (軽油、A重油、LPG、都市ガス、系統電力)

² 「使用量」及び「使用金額」の両方の数値が手元にある場合には、誤差の小さい「使用量」を输入しよう。

(3) 生物多様性保全取組のデータ入力

生物多様性保全取組の評価を行うには、「データ入力・結果表示シート（多様性）Ver.1.0」に次の手順で入力してください。

<概要>

農産物の温室効果ガス簡易算定シートVer.1.0 データ入力・結果表示シート（多様性）						
品目	① 米			③ 特記事項【任意】		
生産地	新潟県			③ 保全対象としている生物種があれば記載してください【任意】		
氏名または団体の名称（必須）	株式会社〇〇〇			③ 保全取組詳細やその他配慮事項があれば記載してください【任意】		
電話番号	03-****-****					
算定実施日	2024年2月12日					
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日					
栽培面積	10 a					
収穫量	600 kg			③ 生き物調査を実施している場合、方法や対象生物、実施主体を記載してください【任意】		
登録番号	-					
評価結果	-					
② 対象取組（各取組は、対象のほ場全体で行われていることを確認してください）						
化学農薬・化学肥料の低減 （化学農薬（節減対象農薬）の成分使用回数、化学肥料の窒素成分量を地域の慣行レベルから低減）	取組なし	本栽培に係る記録	農薬使用成分回数	回	←化学農薬・化学肥料の5割以上減または栽培期間中不使用の場合に記入してください。特別栽培の栽培管理記録を添付いただく場合は入力不要です。	
			化学肥料窒素成分量	データ入力シートに入力ください		kg/10a
			農薬使用成分回数	回		
			化学肥料窒素成分量	kg/10a		
冬期湛水（栽培期間外に2か月以上湛水）	取組なし		湛水期間	月～月	湛水状態確認日	
中干し延期または中止（ワ/や材ワ/が実施後に中干し等）	取組なし	中干しの有無	ヤゴの羽化やオタマジャクシの変態を確認しましたか	有	はい	
江の設置等（湛水が保たれる溝を設置）	取組なし		江の設置状態を確認していますか		設置位置や大きさを記録している	
魚の保護（魚道の設置等）	取組なし		魚道等の設置状況や管理をしていますか			
畦畔管理（除草剤を使用しない管理）	取組なし		畦畔の管理方法を記載してください			

①生産者情報等が自動で入力されます。

② 各評価対象の取組について実施したかどうかを選択し、実施したものについて取組状況を入力してください。

③保全取組に係る特記事項について、任意で記載してください。

<対象取組・特記事項の入力について>

②の箇所に対象取組について入力してください。実施している取組について、「実施（取組要件に合致）」（化学農薬・化学肥料の低減については、「どちらも5割以上減」又は「どちらも栽培期間中不使用」）をドロップダウンリストから選択すると、取組状況の入力欄が表示されます。

取組要件はガイドライン第一部 P39～46、第二部 P18～20 をご確認ください。

○ 化学農薬・化学肥料の低減

化学農薬・化学肥料の低減 （化学農薬（節減対象農薬）の成分使用回数、化学肥料の窒素成分量を地域の慣行レベルから低減）	どちらも5割以上減	本栽培に係る記録	農薬使用成分回数	回	←化学農薬・化学肥料の5割以上減または栽培期間中不使用の場合に記入してください。特別栽培の栽培管理記録等を添付いただく場合は入力不要です。	
			化学肥料窒素成分量	データ入力シートに入力ください		kg/10a
			農薬使用成分回数	回		
			化学肥料窒素成分量	kg/10a		

「どちらも5割以上減」を選択すると、本栽培に係る記録と、都道府県が定める地域慣行基準の記入欄が表示されます。

本栽培に係る化学肥料窒素成分量は、「データ入力シート Ver.1.0」から自動入力されます。黄色のセルに情報を入力し、本栽培に係る化学農薬及び化学肥料が、都道府県が定める地域慣行基準の5割以下であることを確認してください。

なお、特別栽培の栽培管理記録等、使用状況が分かる書類を添付いただく場合は入力不要です。

化学農薬・化学肥料の低減 (化学農薬(節減対象農薬)の成分使用回数、化学肥料の窒素成分量を地域の慣行レベルから低減)	どちらも栽培期間中不使用	本栽培に係る記録 都道府県が定める地域慣行標準	農薬使用成分回数	回	—化学農薬・化学肥料の5割以上減または栽培期間中不使用の場合に記入してください。特別栽培の栽培管理記録等を添付いただく場合は入力不要です。	
			化学肥料窒素成分量	データ入力シートに入力ください		kg/10a
			農薬使用成分回数	回		
			化学肥料窒素成分量	kg/10a		

「どちらも栽培期間中不使用」を選択すると、本栽培に係る記録の記入欄が表示されます。化学農薬を使用していないことについて「0」と入力してください。化学肥料窒素成分量は「データ入力シート Ver.1.0」から自動入力されます。

○ 冬期湛水

冬期湛水(栽培期間外に2か月以上湛水)	実施(取組要件に合致)	湛水期間			湛水状態確認日
			月	～	月

湛水期間及び湛水状態確認日を入力してください。

○ 中干延期または中止

中干し延期または中止(ヤゴやオタマジャクシが変態後に中干し等)	実施(取組要件に合致)	中干の有無	中干前のヤゴの羽化やオタマジャクシの変態の確認
江の設置等(湛水が保たれる溝を)	取組なし		設置状態を確認していますか

中干の有無をドロップダウンリストから選択してください。中干を行った場合は、ヤゴの羽化やオタマジャクシの変態を確認したかどうかをドロップダウンリストから選択してください。

○ 江の設置等

江の設置等(湛水が保たれる溝を設置)	実施(取組要件に合致)	江の設置状態を確認していますか
魚の保護(魚道の設置等)	取組なし	設置位置や大きさを記録している 写真で記録している

江の設置状態の確認方法をドロップダウンリストから選択又は入力してください。リスト以外の管理を行っている場合は具体的に記載してください。

○ 魚の保護

魚の保護(魚道の設置等)	実施(取組要件に合致)	魚道等の設置状況や管理をしていますか
畦畔管理(除草剤を使用しない管理)	取組なし	設置状況や管理を記録している 設置状況を写真で記録し、管理を記録している

魚道等の水田と取水/排水路間の魚類が行き来できる場所の設置状況の確認や管理の記録方法についてドロップダウンリストから選択してください。リスト以外の管理を行っている場合は具体的に記載してください。

○ 畦畔管理

畦畔管理(除草剤を使用しない管理)	実施(取組要件に合致)	畦畔の管理方法
(注) 対象取組の詳細については農産物の環境負荷低減にか		草刈り機等による物理的除草 ガバークロップ

畦畔の管理方法を入力してください。ドロップダウンリストには、「草刈り機等による物理的除草」、「カバークロップ」が設定されており該当する場合は選択してください。それ以外の管理を行っている場合は具体的に記載してください。

③の箇所に、特記事項として、

- ・ 保全対象としている生物種
- ・ 保全取組の詳細やその他配慮事項
- ・ 生き物調査を実施している場合の方法や対象生物、実施主体

を記載してください。記載は任意です。

特記事項【任意】
保全対象としている生物種があれば記載してください【任意】
保全取組詳細やその他配慮事項があれば記載してください【任意】
生き物調査を実施している場合、方法や対象生物、実施主体を記載してください【任意】

4. 簡易算定シートの算定結果の見方

「データ入力シート」への入力を完了すると、「算定結果表示シート」に、入力されたデータに基づいた温室効果ガス排出量（CO₂換算値）が自動で算定されます。上段には入力した基本情報等の概要が示され、下段には、単位面積（10a）あたり（シート左下）と単位収穫量（10kg）あたり（シート右下）温室効果ガス排出量（CO₂換算値）が示されます。

(1) 算定結果表示シート全体

農産物の温室効果ガス簡易算定シート Ver.1.0 【算定結果表示シート(GHG)】

項目	水
生産地	新潟県
氏名または団体の名称	株式会社〇〇〇
電話番号	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
面積あたり収穫量	600 kg/10a
登録番号	-

入力した基本情報等の概要

「標準値」は、同地域（新潟県）における慣行栽培基準等に基
面積当たりのGHG排出量が-83.78%、農産物重量あたりのGHG
排出量が-85.58%、農産物重量あたりのGHG排出量が-85.58%の
「標準値」および「GHG削減貢献率」により算定した
結果です。本算定は2023年1月1日～2023年12月31日のデータに基づき算定した実績値であり、生産年により算定値は変動する
ことが予想されます。
「標準値」および「GHG削減貢献率」は、削減努力を示すために参考情報として設定したものです。削減貢献率は目安とし
てお使いください。算定者により算定方法の異なる場合がありますので、本シートの算定結果間の比較はできません。

等級ラベルの使用

等級ラベル表示を希望する方は、下記リンク先から付与された等級を確認の上、ご利用される等級
を選択し、農林水産省にこのエクセルファイルを提出してください。

等級の確認

農地面積10aあたりの温室効果ガス排出削減貢献量（CO₂換算値）

GHG削減貢献量（対標準値）	マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合
合計	-1210.48 kg-CO ₂ e/10a	-83.79%
農業	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
肥料	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
プラスチック資材	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
燃料・電力	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
土壌N ₂ O	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
水田CH ₄ *	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
土壌への炭素貯留（マイナス分）*	-1210.48 kg-CO ₂ e/10a	-506.1%

単位面積あたりの排出量

入力したデータに基づくGHG排出量（農地10aあたり）		標準排出量（農地10aあたり）		
10aあたりGHG排出量	234.22 kg-CO ₂ e/10a	割合	1444.70 kg-CO ₂ e/10a	割合
農業	39.0 kg-CO ₂ e/10a	2.3%	39.0 kg-CO ₂ e/10a	2.3%
肥料	63.1 kg-CO ₂ e/10a	3.7%	63.1 kg-CO ₂ e/10a	3.7%
プラスチック資材	0.8 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	0.8 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
燃料・電力	94.0 kg-CO ₂ e/10a	5.6%	94.0 kg-CO ₂ e/10a	5.6%
土壌N ₂ O	31.9 kg-CO ₂ e/10a	1.9%	31.9 kg-CO ₂ e/10a	1.9%
水田CH ₄ *	1455.0 kg-CO ₂ e/10a	86.4%	1455.0 kg-CO ₂ e/10a	86.4%
残さ焼却	0.0 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	0.0 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
土壌への炭素貯留（マイナス分）*	-1449.6 kg-CO ₂ e/10a	-86.1%	-239.2 kg-CO ₂ e/10a	-14.2%

*水田由来CH₄は米のみに反映される項目で、その他の農産物では「0」になります。
*土壌への炭素貯留(マイナス分)には、パイオ炭、堆肥の施用、緑肥の施用による効果が含まれます。
*堆肥の施用による土壌への炭素貯留の算定式は、簡易に試算するため、圃場場所等について特定の条件を設定しています。

農産物10kgあたりの温室効果ガス排出削減貢献量（CO₂換算値）

GHG削減貢献量（対標準値）	マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合
合計	-23.17 kg-CO ₂ e/10kg	-85.58%
農業	-0.08 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
肥料	-0.13 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
プラスチック資材	-0.00 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
燃料・電力	-0.20 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
土壌N ₂ O	-0.07 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
水田CH ₄ *	-3.02 kg-CO ₂ e/10kg	-11.1%
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%
土壌への炭素貯留（マイナス分）*	-19.68 kg-CO ₂ e/10kg	-439.1%

単位収穫量あたりの排出量

入力したデータに基づくGHG排出量（農産物10kgあたり）		標準排出量（農産物10kgあたり）		
10kgあたりGHG排出量	3.90 kg-CO ₂ e/10kg	割合	27.07 kg-CO ₂ e/10kg	割合
農業	0.65 kg-CO ₂ e/10kg	2.3%	0.73 kg-CO ₂ e/10kg	2.3%
肥料	1.05 kg-CO ₂ e/10kg	3.7%	1.18 kg-CO ₂ e/10kg	3.7%
プラスチック資材	0.01 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	0.01 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%
燃料・電力	1.57 kg-CO ₂ e/10kg	5.6%	1.76 kg-CO ₂ e/10kg	5.6%
土壌N ₂ O	0.53 kg-CO ₂ e/10kg	1.9%	0.60 kg-CO ₂ e/10kg	1.9%
水田CH ₄ *	24.25 kg-CO ₂ e/10kg	86.4%	27.27 kg-CO ₂ e/10kg	86.4%
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%
土壌への炭素貯留（マイナス分）*	-24.16 kg-CO ₂ e/10kg	-86.1%	-4.48 kg-CO ₂ e/10kg	-14.2%

*水田由来CH₄は米のみに反映される項目で、その他の農産物では「0」になります。
*土壌への炭素貯留(マイナス分)には、パイオ炭、堆肥の施用、緑肥の施用による効果が含まれます。
*堆肥の施用による土壌への炭素貯留の算定式は、簡易に試算するため、圃場場所等について特定の条件を設定しています。

(2) 基本情報の概要

品目	米
生産地	新潟県
氏名または団体の名称	株式会社〇〇〇
電話番号	03-****-****
算定実施日	2024年2月12日
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日
面積あたり収穫量	600 kg/10a
登録番号	-

データ入力シートに入力した内容に基づいて自動で転記されます。

セルを選択し、情報を入力してください。

データ入力シートに入力した内容に基づいて自動で転記されます。

(3) 農地面積 10a あたりの排出量

農地面積10aあたりの温室効果ガス排出削減量 (CO₂換算値)

GHG削減貢献量 (対標準値) ※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	削減量	割合
合計	-316.33 kg-CO ₂ e/10a	-22.25%
農薬	+10.61 kg-CO ₂ e/10a	+27.2%
肥料	+55.80 kg-CO ₂ e/10a	+91.2%
プラスチック資材	-0.79 kg-CO ₂ e/10a	-100.0%
燃料・電力	+21.50 kg-CO ₂ e/10a	+22.9%
土壌N ₂ O	+25.31 kg-CO ₂ e/10a	+80.6%
水田CH ₄ *	-428.76 kg-CO ₂ e/10a	-30.0%
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%
土壌への炭素貯留 (マイナス分) *	0.00 kg-CO ₂ e/10a	0.0%

標準値と比較した温室効果ガス排出削減貢献量
(-マイナス表記が削減貢献量、+プラス表記は増加量を示す)

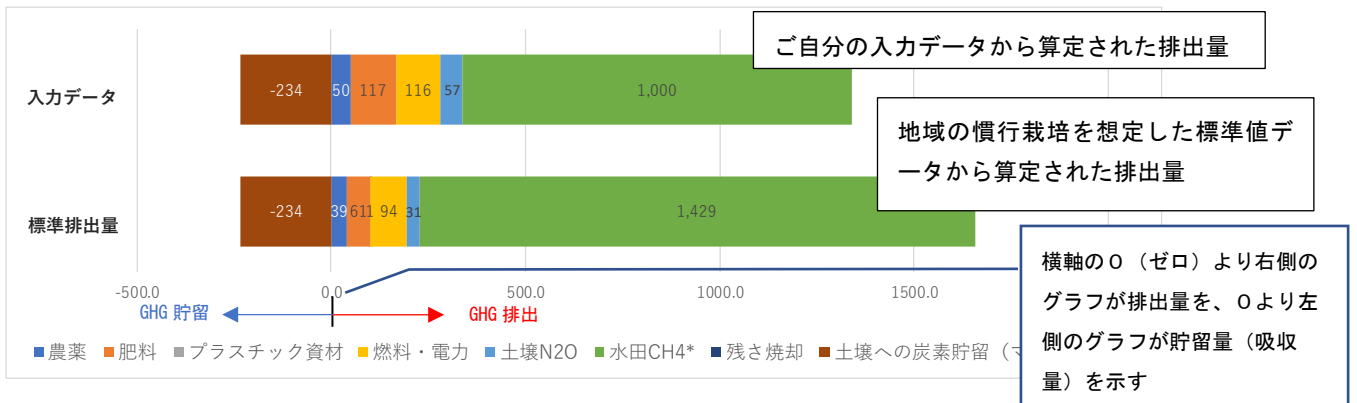
標準値による当該入力項目由来の排出量を 100%
とした場合の、温室効果ガス排出削減貢献割合
(-マイナス表記が削減貢献割合、+プラス表記は増加割合を示す)

*水田由来CH₄は米のみに反映される項目で、その他の農産物には計上されません。

*土壌への炭素貯留(マイナス分)には、バイオ炭、堆肥の施用による効果が含まれます。

堆肥の施用による土壌への炭素貯留の算定式は、簡易に試算するため、圃場場所等について特定の条件を仮定しています。

農地面積10aあたり



入力したデータに基づくGHG排出量 (農地10aあたり)			標準値排出量 (農地10aあたり)		
10aあたりGHG排出量	1105.55 kg-CO ₂ e/10a	割合	1421.89 kg-CO ₂ e/10a	割合	
農薬	49.6 kg-CO ₂ e/10a	3.7%	39.0 kg-CO ₂ e/10a	2.4%	
肥料	117.0 kg-CO ₂ e/10a	8.7%	61.2 kg-CO ₂ e/10a	3.7%	
プラスチック資材	0.0 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	0.8 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	
燃料・電力	115.5 kg-CO ₂ e/10a	8.6%	94.0 kg-CO ₂ e/10a	5.7%	
土壌N ₂ O	56.7 kg-CO ₂ e/10a	4.2%	31.4 kg-CO ₂ e/10a	1.9%	
水田CH ₄ *	1000.4 kg-CO ₂ e/10a	74.7%	1429.2 kg-CO ₂ e/10a	86.3%	
残さ焼却	0.0 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	0.0 kg-CO ₂ e/10a	0.0%	
土壌への炭素貯留 (マイナス分) *	-233.8 kg-CO ₂ e/10a	-17.5%	-233.8 kg-CO ₂ e/10a	-14.1%	

ご自分の入力データから算定した温室効果ガス排出量

ご自分の入力データから算定した温室効果ガス排出量の排出項目別割合

標準値データから算定した温室効果ガス排出量

標準値データから算定した温室効果ガス排出量の排出項目別割合

(4) 農産物 10kg あたりの排出量

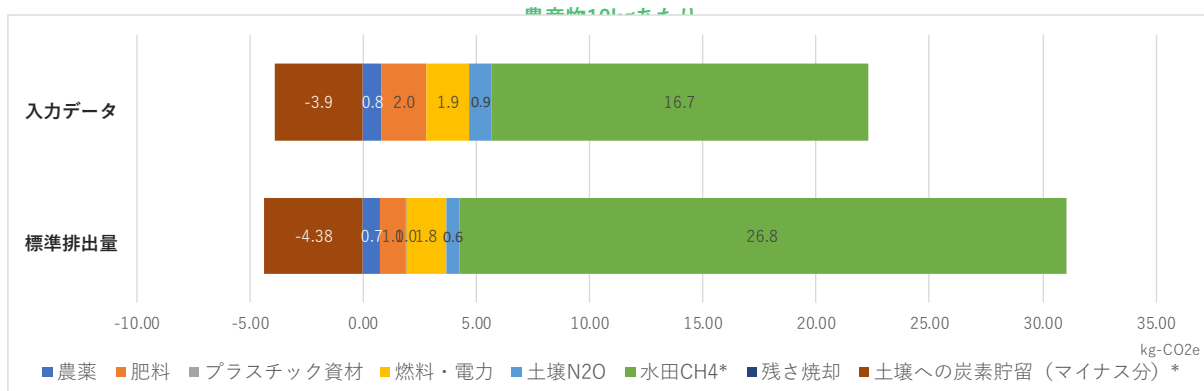
農産物10kgあたりの温室効果ガス排出削減量 (CO₂換算値)

GHG削減貢献量 (対標準値) ※マイナス表記が削減分、プラス表記は増加	割合
合計	-8.22 kg-CO₂e/10kg
農薬	+0.10 kg-CO ₂ e/10kg
肥料	+0.80 kg-CO ₂ e/10kg
プラスチック資材	-0.01 kg-CO ₂ e/10kg
燃料・電力	+0.16 kg-CO ₂ e/10kg
土壌N ₂ O	+0.36 kg-CO ₂ e/10kg
水田CH ₄ *	-10.11 kg-CO ₂ e/10kg
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10kg
土壌への炭素貯留 (マイナス分) *	+0.48 kg-CO ₂ e/10kg

*水田由来CH₄は米のみに反映される項目で、その他の農産物には計上されません。

*土壌への炭素貯留(マイナス分)には、バイオ炭、堆肥の施用による効果が含まれます。

堆肥の施用による土壌への炭素貯留の算定式は、簡易に試算するため、圃場場所等について特定の条件を仮定しています。



入力したデータに基づくGHG排出量 (農産物10kgあたり)			標準排出量 (農産物10kgあたり)		
10kgあたりGHG排出量	18.43 kg-CO₂e/10kg	割合	26.65 kg-CO₂e/10kg	割合	
農薬	0.83 kg-CO ₂ e/10kg	3.7%	0.73 kg-CO ₂ e/10kg	2.4%	
肥料	1.95 kg-CO ₂ e/10kg	8.7%	1.15 kg-CO ₂ e/10kg	3.7%	
プラスチック資材	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	0.01 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	
燃料・電力	1.93 kg-CO ₂ e/10kg	8.6%	1.76 kg-CO ₂ e/10kg	5.7%	
土壌N ₂ O	0.95 kg-CO ₂ e/10kg	4.2%	0.59 kg-CO ₂ e/10kg	1.9%	
水田CH ₄ *	16.67 kg-CO ₂ e/10kg	74.7%	26.78 kg-CO ₂ e/10kg	86.3%	
残さ焼却	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	0.00 kg-CO ₂ e/10kg	0.0%	
土壌への炭素貯留 (マイナス分) *	-3.90 kg-CO ₂ e/10kg	-17.5%	-4.38 kg-CO ₂ e/10kg	-14.1%	

各項目の説明は前ページの(3) 農地面積 10a あたりの排出量と同じです。

(5) 生物多様性保全の取組の評価

生物多様性については、取組の入力と同じシートに1～3個の星の数で結果が表示されます。

農産物の温室効果ガス簡易算定シートVer.1.0 データ入力・結果表示			
品目	米		
生産地	新潟県		保全対象としている生
氏名または団体の名称(必須)	株式会社〇〇〇		
電話番号	03-****-****		保全取組詳細やその他配
算定実施日	2024年2月12日		
データ収集期間	2023年1月1日～2023年12月31日		
栽培面積	10 a		
収穫量	600 kg		生き物調査を実施している場合、ア
登録番号	-		
評価結果	★★★		
対象取組(各取組は、対象のほか全体で行われていることを確認してください)			

こちらに表示される星の数が結果です

(6) 結果の解釈等について

ア 簡易算定シートでできること

- 簡易算定シートの結果から、化学肥料の削減や省エネルギーによる化石燃料の使用量削減、農地へのバイオ炭の施用などの農業者等による地域における温室効果ガス削減への貢献の努力・工夫が見える化できます。
- 温室効果ガスの排出量が多い工程や、土壌への炭素貯留の効果などを定量的に把握できます。
- 単位面積(10 a)当たり及び単位出荷量(10 kg)当たりの排出量が把握できます。
- 前作と今作の排出量を比較することで経時的な増減状況を把握できます。
- 地域の慣行農法を基に算定された標準排出量と比較して、削減貢献量や削減貢献率を算出できます。

イ 簡易算定シートの利用にかかる留意点

- 算定値は一定の仮定のもとに算出されたものであり、算定値には不確実性を伴います。
- 農産物の生産段階の排出量であり、生産段階の後の段階(製造・加工、流通、使用、廃棄等)からの排出量を含みません。
- 簡易算定シートにより算定した温室効果ガス削減への貢献や生物多様性保全の取組について、ガイドラインにしたがってラベル表示をする場合には、実際に算定

に利用した簡易算定シートの「メインシート」に、下記の手順で情報を入力いただき、農林水産省まで電子メールで報告してください。

(メールアドレス : mieruka_houkoku@maff.go.jp)

算定結果表示シート右上から、「等級の確認」を選択し、メインシートに戻ります。

メインシートに自動で戻ります。

等級ラベルの使用	
等級ラベル表示を希望する方は、下記リンク先から付与された等級を確認の上、ご利用される等級を選択し、農林水産省にこのエクセルファイルを提出してください。	
等級の確認	等級の確認をクリック

メインシート③「等級確定及び農林水産省への報告」に算定結果に基づく等級が示されているので、ご利用される等級を、黄色セルのプルダウンリストから選択してください。これらの作業が終了しましたら、農林水産省に算定シートを送付してください。

③等級確定及び農林水産省への報告		
等級ラベル表示を希望する方は、使用する等級にチェックをし、このエクセルファイルを右記アドレス (mieruka_houkoku@maff.go.jp) に送付してください。		
栽培情報		
品目	米	
生産地	新潟県	
等級情報 (等級ラベル表示を希望する方は、等級の結果を確認のうえ、ご利用する等級を選択してください。)		
温室効果ガス削減等級 (面積)	★★★	この等級を利用
温室効果ガス削減等級 (重量)	★★★	この等級を利用
等級情報 (等級ラベル表示を希望する方は、等級の結果を確認のうえ、ご利用する等級を選択してください。)		
生物多様性保全の等級	★★★	この等級を利用
登録番号		
登録番号	-	

利用する等級を選択

○ 報告いただいた情報は、ラベル表示とその算定根拠とのトレーサビリティ確保の観点から、報告いただいた算定結果に対して登録番号を付与するために使用します。登録番号と品目名 (及び該当する場合、品種名) は農林水産省のホームページで公表します。

○ 情報の取扱いについて、詳しくは「プライバシーポリシー」をご参照ください。